

# ??????????

入場者数の定員は60人に制限されています。マスクの着用と安全な対人距離の確保が義務付けられています。施設には水性アルコールジェルが設置されている他、特別な清掃措置がとられています。

19世紀後半の約30年から第二次世界大戦終結後までの様々な芸術家による造形芸術作品を展示。2008年にオープンしたこのホールは、建築家アグスティン・オルティス・デ・ビジャホスがメディナ・デ・ラス・トーレス女公爵のために1881年から1884年にかけて建設した建物内にあります。ホールの他、カタルーニャ出身の巨匠ジョアン・ミロの常設展示を行っているミロ・スペース (Espacio Miró) もあります。

当初は地上4階と半地下、という構造でしたが、1910年には建物本体の隅に2本の塔が建てられました。その後の数回にわたる改装や改築作業を経て、3つのスペースに分かれた現在の展示室の延べ床面積は、およそ1,000㎡に及びます。

マフレ財団では、19世紀末から第二次世界大戦後までの絵画、彫刻、イラストの展示活動を行っています。





## 入場料

一般入場券：3ユーロ

入場無料：月曜14:00 - 20:00 h

飲食物（水を含む）の持ち込みは禁止されています。また、展示作品を毀損する

## Cercanías (Local train)

Madrid-Recoletos

## タイムテーブル

月曜14:00-20:00 h

火曜～土曜11:00-20:00 h

日曜・祝日11:00-19:00 h

休館日：12月25日、1月1日・6日

12月24日・31日

1月5日：10:00～15:00



PÁGINA OFICIAL DE TURISMO DE LA CIUDAD DE MADRID

